

ひたち医療センター 広報誌

特集

ぜいじゃくせいこっせつ 当院における脆弱性骨折治療と 二次性骨折予防への取り組み

ひたち医療センター 整形外科部長 つむらや 圓谷 ともみ 智海



二次性骨折予防 FLS チーム
(整形外科医、病棟、外来、薬剤科、栄養科、リハビリ療法科、放射線科、医事課、地域医療連携室)

◎整形外科の紹介

整形外科では、骨・関節・筋・靭帯・神経など運動器全般を対象に診療を行っており、常勤医3名・非常勤医2名体制で対応しています。私の専門分野が外傷（四肢・骨盤骨折、難治性骨折、Orthoplastic surgery）であることから、整形外科手術の約9割が外傷関連です。また、人工関節置換術（股・膝・肩）、関節鏡視下手術（膝・肩）等の治療にも積極的に取り組んでいます。

◎ 大腿骨近位部骨折（頸部骨折・転子部骨折）

高齢者に多い大腿骨近位部骨折は、骨粗鬆症を背景とする脆弱性骨折で、年間約 20 万件発生していると言われています。ADL（Activities of Daily Living；日常生活動作）低下や寝たきりを防ぐため、早期（なるべく受傷後 48 時間以内）の手術加療が基本です。

大腿骨頸部骨折は転位の有無により治療法が異なります。転位が無いまたは少ない場合は骨接合術を行います。転位が大きい場合は人工骨頭置換術（BHA）が選択されますが、当院では 80 歳未満で ADL が自立した方には人工股関節全置換術（THA）を行っております（図 1）。いずれも脱臼率が低い OCM アプローチで行い、脱臼率 0.6%と良好な成績を得ております（表 1）。

図 1 大腿骨頸部骨折の転位の有無による手術法の違い

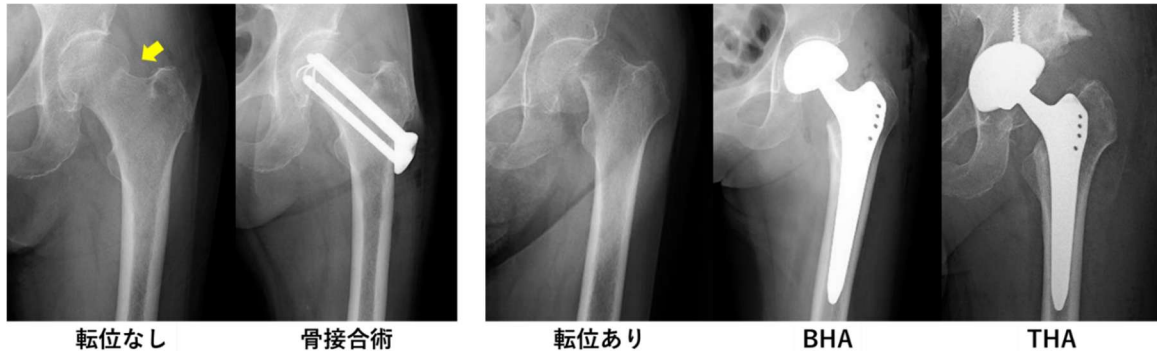
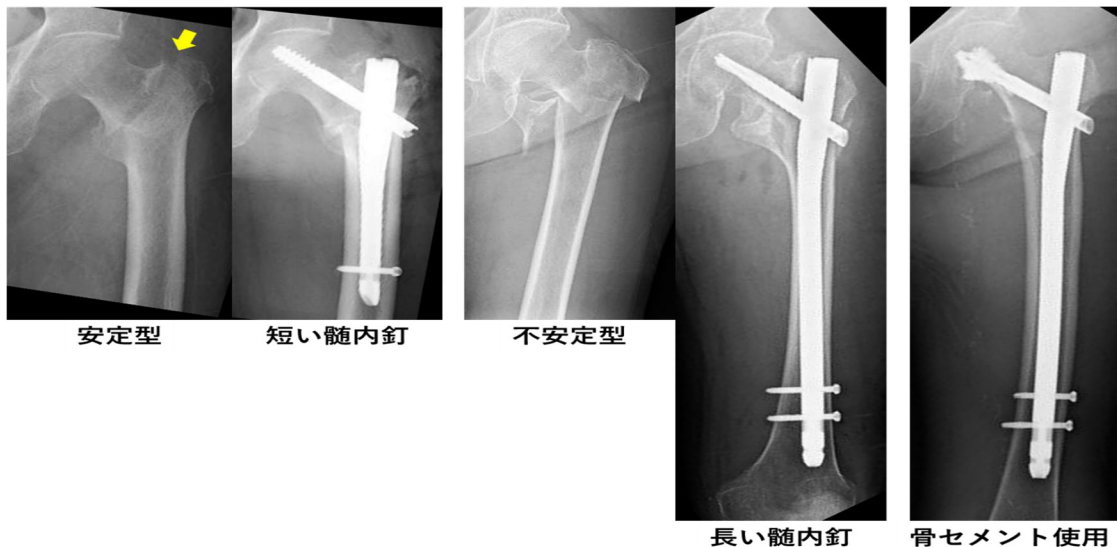


表 1 アプローチ法と脱臼率の比較

	後方		OCM	
	件数	脱臼	件数	脱臼
人工骨頭置換術（BHA）	106	4	222	1
人工股関節全置換術（THA）	6	1	96	1
計	112	5 (4.5%)	318	2 (0.6%)

大腿骨転子部骨折には、髓内釘による骨接合術を行っております。通常は短い髓内釘を使用しますが、骨折型が不安定な症例に対しては長い髓内釘を選択し、骨折部にかかるストレスを大腿骨全体に分散させるようにします。また、骨質不良例にはラグスクリュー周囲に骨セメントを注入し、骨内からも安定性を高めるようにしております（図 2）。骨折部を安定化させることが、除痛や早期離床、ADL 低下防止につながります。

図 2 骨折型の安定性による髓内釘長の違い



◎ 脆弱性骨盤骨折

通常骨盤骨折は、交通事故や高所からの転落による高エネルギー外傷で起こりますが、近年は高齢化に伴い、立った高さからの転倒・転落など比較的低エネルギーによる骨盤骨折が増えています。骨粗鬆症に起因することから、脆弱性骨盤骨折と呼ばれています。以前は保存加療を行っていましたが、偽関節、臓器障害、反対側の骨折などによりADLがさらに低下したケースを数多く経験しました。そこで当院では2024年より低侵襲な経皮的スクリュー固定を導入しました(図3)。手術加療は保存加療に比べて除痛効果が大きい、という良好な結果を得ることができました(図4)。

図3 脆弱性骨盤骨折と経皮的スクリュー固定法

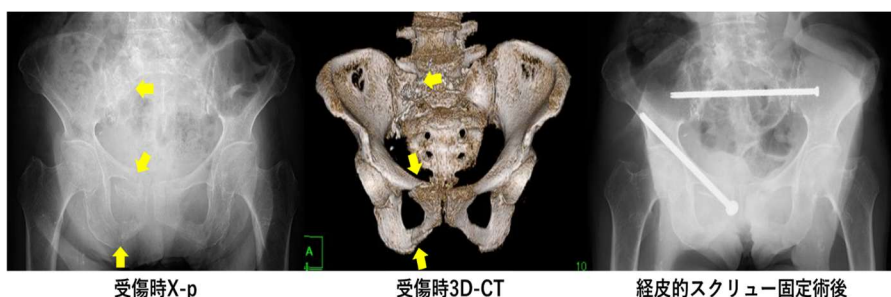
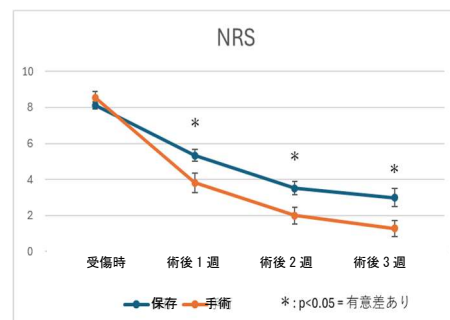


図4 脆弱性骨盤骨折の治療法と除痛効果



◎ 二次性骨折予防

脆弱性骨折は骨粗鬆症が顕在化した状態であり、骨粗鬆症未治療のままでは再骨折(二次性骨折)のリスクが高まると言われています。二次性骨折により寝たきりや施設入所となるケースは数多く、本人だけでなく家族や医療・介護資源への負担も大きくなります。

それらに対応すべく、当院では2022年より二次性骨折予防継続管理料の算定を開始し、FLS(Fracture Liaison Service) チームを立ち上げました。多職種が連携し、入院中から退院後まで骨粗鬆症治療を継続できる体制を整備している最中です。私自身FLSの活動を通して、骨折は「治して終わり」ではなく、「次を防ぐことが本当の治療」である、と考えております。

◎ 当院における過去5年の手術件数と主な手術件数の内訳

	2020	2021	2022	2023	2024
骨折観血的手術(大腿)	77	59	64	80	79
人工骨頭置換術(大腿)	52	36	32	30	45
人工股関節全置換術	1	6	4	19	18
骨折観血的手術(前腕)	19	34	36	33	42
骨折観血的手術(骨盤・寛骨臼)	1	1	2	1	19
骨折・脱臼関連	357	306	337	324	394
人工股関節全置換術	7	5	8	8	7
人工膝関節全置換術・単顆置換術	4	6	3	10	5
関節鏡視下手術(膝・肩)	—	—	—	1	4
変性疾患・その他	36	39	28	46	37
全手術件数	393	345	365	370	431

◎ 最後に

今回は我々整形外科の診療内容の一部を紹介させていただきました。もし骨折・脱臼の手術治療が必要な患者様や、人工関節手術を希望されている患者様がおりましたら、地域医療連携室を通してご紹介いただければ幸いです。

(筆: 圓谷 智海)

当院では、骨密度検査（DEXA）を目的とした紹介患者さんが、安心して受診できるよう、本年4月より、地域医療連携室において申込の受付を開始しております。

ご紹介の患者さんがおりましたら、紹介予約申込書に希望曜日をご記入の上、診療情報提供書とともに地域医療連携室へFAXくださいますようお願いいたします。

診察・検査日 月・水・木・土曜日（※手術日以外）
時間 当日は、午前9時頃までに総合受付へご来院ください。
検査結果について 当日、医師が患者さんに説明します。 紹介元医療機関に御返書いたします。



※紹介予約申込書は、当院ホームページの地域医療連携室からダウンロードしてご利用ください。



地域医療連携室 FAX 0294-37-0847

トピックス

永年勤続者表彰

5月1日、当院職員の永年勤続者表彰が行われ加藤病院長から、これまでの勤労を讃え、23名の職員に感謝状が贈られました。今年の永年勤続者の皆さんは次のとおりです。代表して、赤津俊朗さんが謝辞をしました。

- <35年勤続> 赤津俊朗さん 渥美光世さん
- <30年勤続> 佐々木宏美さん
- <25年勤続> 石本道子さん 神永昌幸さん 小田部明香さん 柴田勝子さん
- <20年勤続> 鈴木めぐみさん 小川順子さん 中山由樹子さん
- <10年勤続> 櫻村由香里さん 望月真妃さん 佐藤愛さん 沼田知之さん 伊藤美幸さん
相馬美由紀さん 中川美鈴さん 関ますみさん 田口久恵さん 佐藤彩奈さん
丹下恵さん 田村春枝さん 山形樹里さん



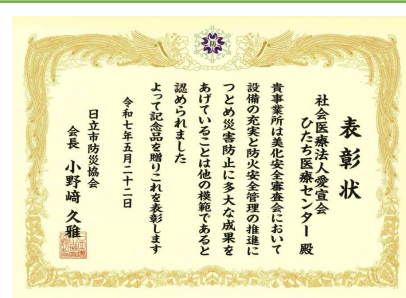


5月12日の「看護の日」にちなみ、当院では5月13日(火)に、看護の日イベントを開催しました。イベントでは、看護師、管理栄養士らによる血管年齢や骨密度、酸素飽和度、血糖値、身体測定などの健康チェック、認知相談プログラム、体に優しい食事メニューを提案する栄養相談などを実施しました。また、病院職員によるピアノ演奏やチャリティーバザー、新鮮な野菜・果物の販売も行い、入院患者さんをはじめ多くの来場者で賑わいました。イベントを通して健康を振り返るきっかけや職員との触れ合いにより看護の心を少しでも感じていただけたら幸いです。

健康グッズなどを販売したバザーの売上金は、災害支援に役立てていただけるよう茨城新聞文化福祉事業団に募金させていただきました。



5月22日、令和7年度日立市防災協会優良事業所表彰が市内ホテル天地閣にて行われ、日立市防災協会会長から美化・安全審査優良事業所として当院が表彰を受けました。当日は雨谷光雄施設課長が代表して受賞しました。



日立市の社会福祉事業団と市内で初めて同事業団により運営された特別養護老人ホーム「萬春園」が設立50周年を迎え、5月23日、記念式典が萬春園で行われました。式典では医療福祉関係者や同園ボランティアらに小川市長から感謝状が手わたされ、萬春園の協力医療機関である当院にも感謝状が贈られ、須藤礼子看護部長が代表して受け取りました。



栄養科から ～熱中症に気をつけましょう～



熱中症とは、高温多湿な環境下で発汗による体温調節等がうまく働かなくなり体内に熱がこもった状態をさし、屋外だけでなく室内でも発症します。熱中症にならないように対策をとって暑い夏を乗り切りましょう！

熱中症・夏バテ対策



①朝ごはんを食べよう！

朝食をしっかり摂ると水分だけでなく塩分も摂る事ができます。糖質・たんぱく質・ビタミン類も含まれています。

②たんぱく質をしっかり摂ろう！

夏場は麺類を選びがちですが、麺だけだと炭水化物に偏ってしまいます。単品料理でも「たんぱく質」や「野菜」を意識しましょう。肉類・魚類・卵等の食材と一緒に食べることでたんぱく質を摂ることができます。

③香味野菜、香辛料で食欲UP

ねぎ、大葉、みょうが等の香味野菜、コショウ等の香辛料は食欲を刺激します。

④効果的な栄養素（ビタミンB1・ビタミンC・クエン酸）

ビタミンB1・・・疲労回復の効果が期待できます。例）豚肉・うなぎ・大豆・種実類など
ビタミンC・・・免疫力を高め、ストレスへの抗体を作る働きがあります。例）野菜・果物・いも類など
クエン酸・・・疲れの原因になる乳酸の発生を抑える働きがあります。例）梅干し・酢・レモンなど



献立紹介 ～キムチサラダうどん～



材料(2人分)

- ・(冷)うどん…2玉
- ・豚ロース肉 しゃぶしゃぶ用…100g
- ・温泉卵…2個
- ・レタス…60g
- ・かいわれ菜…適宜
- ・キムチ…60g

<麺つゆ>

- A
- ・めんつゆ(3倍濃縮)…50ml
 - ・みりん…小さじ1
 - ・料理酒…小さじ2
 - ・だし汁…160ml ※水でも良い

<1人分の栄養価> エネルギー510kcal たんぱく質 23g 食塩相当量 4.5g (汁を全部飲んだ場合)

<作り方>

- ① 豚肉は5cm幅に切る。
- ② 鍋にお湯を沸かし、①を入れて火が通るまでゆで、氷水で冷やして水気を切る。
- ③ Aを合わせて小鍋でひと煮立ちさせ、アルコール分を飛ばして冷ます。(電子レンジを活用しても良い)
- ④ うどんをゆで、冷水にとり、水気を切る。
- ⑤ 器にうどんを盛り、③の麺つゆをかけて豚肉・キムチ・かいわれ菜・レタス・温泉卵をのせる。
お好みで季節の野菜を入れるのもおすすめです！



キムチには代謝を促進し、発汗を促す効果があるカプサイシンという栄養素が含まれており、体温調節を促す効果が期待できます！



薬剤科から ～粉薬の飲ませ方～

“良薬口に苦し”とは言いますが、お子さんに薬を飲ませるのに苦労されている方も多いのでは。

【基本は水か湯冷まして】

大人も子供も、薬は水か湯冷まして飲むのが原則です。小さなお子さんの場合は、粉薬に少量の水（薬1gに対して5滴ぐらい）を加えてペースト状にして、上あごに塗り付けてから水を飲ませると、舌で味を感じずに飲めるのでよいとされています。水などに混ぜて飲ませる場合は、時間がたつと苦みが強くなったりするので、直前に混ぜるようにしましょう。

【牛乳やジュース、蜂蜜は避ける】

牛乳で飲ませると、牛乳の味が変わってしまい牛乳が嫌いになることがあります。また、多くのジュース類は酸性のため、薬の苦みが強調されたり、薬の効き方に影響を与えたりすることがあります。シロップに混ぜるとする方法もありますが、シロップの代わりに蜂蜜を使うと、天然の蜂蜜には微量の細菌が入っていることがあり、小さなお子さんは中毒を起こすことがあります。

【オブラートの使い方】

昔からの粉薬を飲む際のアイテムとしてオブラートがあります。薬を包んでそのまま飲もうとすると、口の中に張り付いてしまいます。飲む前に表面を軽く濡らすと、表面がゼリー状になり、するっと飲むことができます。最近は、薬を入れやすい袋状のものや、味の付いたものなども販売されています。

【服薬補助剤】

服薬を補助するゼリーも発売されています。使うときは、薬をゼリーに混ぜるのではなく、薬をゼリーで包むようにして飲ませます。また、最近、自分で水を加えて混ぜると発泡してふくらんで服薬補助剤になるという知育お菓子感覚の製品も発売されました。

子供によって好みも違うので、いろいろな方法を試してみてください。薬が飲めたら、「ちゃんとお薬飲めたね」とほめてあげるのも効果的です。



かんほうまめちしき
漢方豆知識

～漢方に使われる身近な植物 サンショウ（山椒） ミカン科～



漢方では、大建中湯、当帰湯に配合されています。

小粒でピリリと辛いサンショウです。

属が違うので厳密には柑橘系ではないそうですが、ミカン科らしいさわやかさが特徴です。英語では、Japanese pepper、文字通り日本を代表する香辛料ですが、単独では鰻の蒲焼に使うぐらいしか思い浮かびません。七味として使うのが一般的でしょうか。日本語では、サンショウもトウガラシも辛いと書きますが、中国語では舌が麻痺するようだとしてサンショウの辛さは、麻味と表します。（トウガラシは辣味）ただし、麻婆豆腐の“麻”は辛さではなく“あばた面”の意味だそうです。（紛らわしい）

成熟した実の皮を乾燥させたものを生薬に用い、健胃整腸効果があるとされます。

医療と介護の連携に取り組んでいます

令和6年度診療報酬・介護報酬改定により、いっそう医療と介護の連携の強化が求められています。

● 在宅において積極的役割を担う医療機関として

当院は、茨城県保健医療計画（第8次）において日立市医師会の推薦を受け、「在宅において積極的役割を担う医療機関」として位置づけられています。24時間対応の体制で、在宅からの救急の患者さんに対し、医療を提供しています。

● 協力医療機関として

当院は次の施設の協力医療機関として、日頃より施設と連携を図り、施設入所者に関する緊急時の相談及び受診等に備えています。また、施設からのご相談により、高齢者施設感染症対策として感染制御等実地指導の協力を行っています。

【協力対象施設】

施設	所在地	感染対策上の協力
特別養護老人ホーム 日立市萬春園	日立市鮎川町	R6.10月に研修会実施
特別養護老人ホーム 金沢弁天園	日立市東金沢町	R6.12月に研修会実施
特別養護老人ホーム 小咲園	日立市諏訪町	—
特別養護老人ホーム 石名坂聖孝園	日立市石名坂町	R7.7月に研修会予定
介護老人保健施設 藍	日立市千石町	—
介護老人保健施設 日立南ヘルシーセンター	日立市大みか町	—

● 多職種との連携

患者さんが安心して退院できるよう、入退院支援看護師と相談員（社会福祉士、MSW）が、担当ケアマネージャーさんや施設相談員、訪問看護師等関係する医療・介護の多職種の皆さんと連携し、医療・介護・福祉サービスや退院先（病院・施設）の調整を行っています。



医療機関の皆様へ ～紹介患者のご予約について～

～～～医療機関からの患者さんご紹介には地域医療連携室をご活用ください～～～

ご紹介の際は、**診療情報提供書**、**紹介予約申込書**を地域医療連携室に **FAX(0294-37-0847)**送信してください。紹介予約申込書は、当院ホームページ地域医療連携室に公開しております。

地域医療連携室	TEL (直通) 0294-37-0609	FAX (直通) 0294-37-0847
受付時間	月曜日～金曜日	午前8時30分～午後4時00分
	土曜日	午前8時30分～午前11時00分

※緊急を要する患者さんの場合は、救急外来（代表電話0294-36-2551）へお電話ください。



〒316-8533 茨城県日立市鮎川町2-8-16
 TEL 0294-36-2551 FAX 0294-35-7816
 URL <https://www.hitachi-mch.or.jp>
 発行：地域医療連携室